



▲さまざまな雛人形を見ることができる

雛人形が勢ぞろい

ふくつの雛人形展

3月10日までJ R福間駅内の福津市行政・観光情報ステーション「ふっくる」でふくつの雛人形が展示されています。津屋崎人形やマルチグラス、組み木、ハマグリで作られた色鮮やかな雛人形が展示されています。

訪れた人は、お茶を飲みながら一点一点ゆっくりと眺めていました。入場は無料です。

欲しい商品をご自宅までお届けします

“イロイロお届け便”出発式

買物支援モデル事業“イロイロお届け便”が2月15日からスタートし、その出発式がマルシェ福間店で行われました。この事業は、高齢などで買い物を負担に感じているかたに、電話一本で欲しい商品を自宅まで届けるサービスです。買物支援のほか、商品を届ける商店会の活性化や高齢者の見守り支援といった側面も兼ね備えています。出発式に際し、小山市長は「この事業が市民に愛され、定着するものと確信している」とあいさつ、その後、配達第1便を見送りました。



▲テープカットの後、配達第1便を見送りました



▲杉並第四小学校の教諭をしたときの体験をユーモラスに語る乙武さん

まちのわだい

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。

〒811-3293 (住所不要)

福津市役所広報秘書課 広報ふくつ行 ☎43・8113

チャレンジ精神を忘れずに

乙武洋匡文化講演会

「私たちは人生ではさまざまな壁に直面します。でもその時にできない言い訳を探してあきらめるのか？ それとも何とか乗り越えようと努力するのか？」乙武洋匡さんの講演会での言葉です。福岡県退職教職員協会主催で乙武洋匡文化講演会が2月11日カメラアホールで開催されました。

乙武さんは「子どもの生き方のモデルとなるのが大人。まずはその大人がチャレンジする生き方を子どもたちに示さないといけない」ということを、自身の小学校で3・4年生を担当したときの体験を通して、分かりやすい言葉で伝えてくれました。

講演会の最後には質問の時間があり、会場の臨床心理士を目指している女性からの「臨床心理士になろうとしている人たちに何かアドバイスを」というリクエストに、乙武さんは「例えば世界中を旅するとかして、さまざまな価値観に触れてください。今の日本の価値観だけで人と接するのではなく、もっと広い視野・さまざまな視点を身に付けておくことが大切です」と答えていました。



市民広報ボランティア



夕陽館の新春祭

1月27日、潮湯の里夕陽館で新春祭が開かれました。

夕陽館ダンス部のよさこい踊りと飯塚市の小学生3人の和太鼓が競演。日ごろの練習の成果を多くの人に見てもらいたいと力強い太鼓の音が館内に響きました。和太鼓とよさこい踊りのコラボレーションでは、会場から大きな拍手が送られていました。

ダンスと和太鼓の交互の競演で、あっという間に予定の1時間が経ちました。 【福崎信一】



博多にわか

1月20日、津屋崎千軒なごみで「博多にわか五月会」の公演がありました。「博多にわか五月会」は福岡工業高校のOBの皆さんが仕事をしつつ趣味として公演を続けています。悩みは練習不足だそうです。「一口にわか」や「即興にわか」、二人で掛けあう「掛けあいにわか」などがあり、最後は「祝いめでた」の合唱と博多一本入れ(締めとは言わないそうです)でめでたく終了。皆が楽しい時間を過ごしました。 【吉村邦夫】



イオンモール福津に「福津三十六景」

イオンモール福津の「福津三十六景」を知っていますか？ 場所は1階のトイレに向かう通路。落ち着いたトーンの通路の両サイドには、福津の名所旧跡の三十六景の写真が解説文と共に掲示してあります。ゆったりと眺めていると何だかその場所にいるような気分になります。お買い物ごたら、この素敵な空間でお気に入りの景色を見つけてみませんか？

【櫻井紀子】



節分豆まき

2月2日と3日、宮地嶽神社で豆まきが行われました。神前の舞台は早くから家族連れなどで大変な人出でした。

神事後、舞台の上では年男・年女たちが、袴袴の衣装で豆をまいていました。豆をもらう人は両手を広げて、大きな歓声を上げていました。

遠くは山口県や大分県からの参加もあったようです。 【藤山謙治】

みんな大好き!
わが家の宝



いまばやしわかば
今林若葉ちゃん
平成23年3月10日生 原町1区

みやもとこうすけ
宮本晃佑ちゃん
平成22年11月27日生 四角区

いとこ同士で仲良しの二人。また一緒に遊ぼうね! わかちゃん2歳の誕生日おめでとう☆



ひろそうた
八尋爽太ちゃん
平成22年2月25日生

ひろこみ
八尋心美ちゃん
平成24年3月30日生 花見3区

爽太3歳、心美1歳、お誕生日おめでとう♡

歌とダンス!? が大好きな爽太。お兄ちゃんのこと好きな心美。仲良く遊んでいる姿を見ることも幸せです。これからも仲良く元気いっばいに育ててね!!

募集しています

●広報ふくつでは「みんな大好き! わが家の宝」に登場してくれる1歳から4歳程度のお子さんを募集しています。●[〇月号に載せて]という場合を除き、締め切りはありません。申し込みいただいた後の最新号に掲載します。●誕生日など、掲載号をご指定の場合は、誕生日の前月1日までに申し込みください。●お子さんのお名前・住所(行政区)・生年月日・お子さんのお気に入り(好きなものなんでも)に写真を添えて申し込みください。

申込・問い合わせ 市広報秘書課(福岡庁舎) ☎43・8113

TOWN TOPICS

地元を自然を呼び戻すために

畦町の祇園神社を清掃

1月20日、畦町区の祇園神社をきれいにするための作業が行われました。泥が溜まって草だらけのお祇園様の池をきれいにして、ホタルやサワガニを呼び戻したいと願う地元住民が20人が集まりました。竹や雑木を切ったり、草を刈ったりと大奮闘。

この日、掃除に参加した女性は「この神社は、私がか子どもの頃は、本当にきれいだったよ。掃除することができてうれしい」と目を細めながら語っていました。



▲切った竹は池を囲うためのシガラ組に使う

イノシシの捕獲で安全・安心

鳥獣加工処理施設を整備

福津市、宗像市、宮若市、岡垣町は、近年、有害鳥獣の被害が増えていることから、広域で運営する鳥獣加工処理施設を宗像市池田に整備し、2月1日から運営を開始しました。

この施設では、捕獲後の鳥獣を適正に処理することができます。また、今後はその一部を食肉として有効利用できるようにする予定。駆除従事者の駆除後の処理を楽にし、駆除従事者数の確保につなげます。



▲施設の説明をする全猟会の占部健さん

柔らかな土の響きに包まれて

勝浦小学校で宗次郎さんがオカリナコンサート



▲自作のオカリナで演奏する宗次郎さん

宗次郎さんのオカリナコンサートが、1月31日勝浦小学校体育館で開かれました。

「ぜひ勝浦小学校のみんなにも聴いてもらいたい」約1年前カメラホールで宗次郎さんのオカリナを聴いて感動した勝浦小学校の生徒がアンケートに書いた言葉です。その言葉が宗次郎さんの目に留まり今回のコンサートが実現しました。

宗次郎さんは、「コンドルは飛んでいく」や「故郷」などの曲を、大小さまざまなオカリナで語り掛けるように演奏。勝浦小学校に、土の優しい音が響いていました。



▲母親が作った衣装で滑るフェンスターさん

氷上の舞姫

第33回全国中学校スケート大会に出場

2月2日～5日に長野市で開催された第33回全国中学校スケート大会に、津屋崎中学校2年のフェンスター似奈さんが出場しました。

初めて氷の上に乗ったのは3歳というフェンスターさんは、父親がアイスホッケーをしていたことがきっかけで、小学校1年生からフィギュアスケートのクラブに所属します。1日でも休んだり、体重が少しでも増えたりしたら、ジャンプが不調になることから、毎日4時間は練習しているといいます。

「フィギュアスケートは、ダンスやバレエの要素を含んでいるところが面白い」、「有名な選手が多かったので、周りの選手に圧倒されたけど、自分なりに良い演技ができたので良かった。来年も全国大会に出場したいです」と語りました。

広がる認知症サポーターの輪

**“認知症の人を、地域で支えるまちづくり”
認知症支援啓発講演会 「介護をととして見えるもの」**



▲体験発表をする子どもたち

1月19日、宮司コミュニティセンターで、笹淵隆広さんの介護経験の講演と地域での認知症支援啓発への取り組みの紹介がありました。

福岡小学校5年生は、介護施設で高齢者との触れ合いの体験を発表し、福岡中学校の生徒たちは、地域の人への「福招き年賀状大作戦」の取り組みを発表していました。子どもたちにも、認知症サポーターの輪が広がっています。

市民広報ボランティア

使用済み切手の整理作業風景

福津市市域婦人会では、30数年前から使用済み切手の整理を年に2回しています。市役所やマルシェなどの人が集まる所に収集箱を設置。集まった使用済み切手の不要部分をカットする作業を行いました。各支部でこの作業を行い、年に1回婦人会本部に集められ、社団法人日本キリスト教海外医療協会へ送られ、開発途上国の医療支援に使われています。写真は和1・2区支部の皆さんです。



切手の周りを3～4mm残して切る

ユーモラスな形の弥生時代の土笛

香葉遺跡から土笛が出土

福津市福間南の香葉遺跡から弥生時代の土笛が出土しました。器高8.8cmの卵形をした中が空洞の土製品です。直径2.5cmの吹口を持ち、音階調節のための小さな指孔が前面に4つ、後面に2つあります。吹口から息を吹き込むと「ホー」という素朴で優しい音が出ます。

中国古代にも類似する陶埙という土笛がありますが、时期的な隔りがあり、直接のルーツではないようです。このことから朝鮮半島などを中継して渡来したとする説、卵やヤシの実の笛を模倣したとする説などがあります。この土笛は楽器であると同時に何らかの祭祀に用いる道具としての性格があったと思われます。穀物などの貯蔵穴から出土する例が知られていることから、農業祭祀に用いられたとする説が有力です。豊作祈願や収穫祭で使われていたのかもしれない。



▲今回出土した土笛、九州では4例目となる

世界遺産登録 トヨタ自動車九州が加勢

トヨタPR館に世界遺産のパネル展示



▲ウイング21PR館の2階に展示されている

世界遺産登録を目指すため「宗像・沖ノ島と関連遺産群」を紹介するブースが1月30日、宮若市のトヨタ自動車九州「ウイング21PR館」に設置されました。

ブースでは、沖ノ島と遺産群の写真と文章で紹介するパネル12枚を展示。

調印式では、トヨタ自動車九州の二橋岩雄社長は「郷土の誇りである歴史遺産に理解を深めてもらえれば」とあいさつしました。

海外からも高い評価

第4回世界遺産国際専門家会議開催

平成28年夏に世界遺産登録を目指している「宗像・沖ノ島と関連遺産群」について価値を検討する会議が2月1日から4日まで開催されました。1日は候補地を視察しました。あいにくの雨の中、海外からの8人の専門家は1時間以上かけて新原・奴山古墳群を視察。「古墳の保存状態が良い。古墳の眺めも素晴らしい」という意見をいただきました。

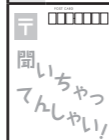


▲雨の中、古墳群を見てまわる専門委員

自由投稿コーナー

人の優しさが骨身にしみました

木下 多美子 さん



「聞いてちゃってんしゃい! ふくつ便」

市広報秘書課 (福間庁舎) ☎43・8113

区の仲良しサロンでクリスマス会がありました。保育所の年長さんの子どもたちが歌とお遊戯とあやとりを披露してくれました。その後私たち一人一人を小さな手で肩をトントン・もみもみ、そつとなで優しく軟らかな手で包んでもらいました。首に掛けてもらった花の形をした紙かざりには「元気で長生きしてください」

さいと幼い字で書いてありました。温かな小さな手と、邪心の無い清らかな瞳、きれいな心にうれしくて、うれしくて涙が止まりませんでした。ありがとうございます。年を取ると涙腺がゆるむのかな? すぐに涙がこぼれます。人の優しさが骨身にしみます。



あたより
寄せちゃってんしゃい
(お便りを送ってください)

POST CARD

8 1 1 3 2 9 3

お手数ですが
50円切手をお貼りください

フリガナ

氏名

年齢 歳 性別 男・女

ペンネームまたはイニシャル

※記載がない場合は、実名での掲載とさせていただきます。

住所

電話 () -

福津市役所広報秘書課
広報広聴係 行

聞いてちゃってんしゃい!
ふくつ便

点線に沿って切り抜き、必要事項を書いて、切手を貼って投稿してください。